



『ピースプロジェクト』活動報告書

NPO 法人『ピースプロジェクト』
代表理事 加藤勉

この報告書は 2011 年の東日本大震災以降、『ピースプロジェクト』としての活動を記しています。

活動開始は 2011 年 3 月 13 日認定 NPO 法人『難民を助ける会』の一員として物資配布、障害者施設の安否確認作業からスタートしました。

『ピースプロジェクト』としての活動は 3 月 31 日から、スタッフ、道具がないなかでの活動で最初は外部団体の援助を受けながらの活動開始でした。

NPO 法人となったのは 2011 年 10 月です。それ以前は任意団体としての活動となります。

それらの具体的な活動内容が次頁から記載されています。

マスコミをはじめメディアは徐々に被災地からの情報発信が少なくなっていますが、福島県をはじめ、支援の手はまだまだ必要とされています。

『ピースプロジェクト』は「もう来なくていいよ」と言われるまで活動を継続していく覚悟でこの支援活動に臨んでいます。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【『ピースプロジェクト』活動報告書】

2011 年 3 月 31 日（木）

◎宮城県石巻市渡波支所での炊き出し支援活動（協力：徳島ラーメン『東大』）
（受益者数：1000 人）

メニュー：徳島ラーメン 1,000 食、リラックマぬいぐるみ 100 個配布

震災後、大勢の方が避難されている市役所支所でラーメンの炊き出しを行いました。
状況はとても過酷でトイレの隣にびしょびしょの段ボールで寝ているお年寄りがとても辛そうでした。



2011 年 3 月 31 日（木）

◎宮城県石巻市渡波小学校での炊き出し支援活動（協力：徳島ラーメン『東大』）
（受益者数：1200 人）

メニュー：徳島ラーメン 1,200 食、リラックマぬいぐるみ 100 個配布

午後、続いて徳島ラーメンの炊き出しを実施しました。この小学校にも入りきれないほど避難されている方々がいました。

学校の中は津波で流されてきた自動車やガレキが山積み状態で、避難するのももどかしい状態でした。



2011 年 4 月 1 日（金）

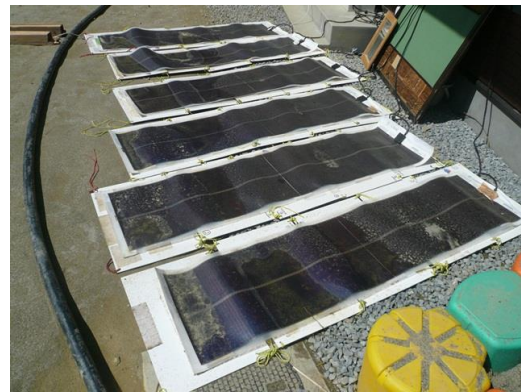
◎宮城県石巻市北上小学校での炊き出し支援活動（協力：徳島ラーメン『東大』）
（受益者数：800 人）

前日に続いて徳島ラーメンの炊き出しを実施しました。この小学校は自炊出来る施設も備えており、比較的避難されている方の表情も穏やかでした。

停電している状態のため太陽光発電機が寄贈されていました。

この日、現場に向かう途中、北上川には何頭もの乳牛の死体が浮いていました。

また自衛隊を始めとする救助部隊が北上川岸边付近で行方不明者の捜索を行っていました。



2011年4月4日（月）

◎宮城県南三陸町志津川小学校での炊き出し支援活動

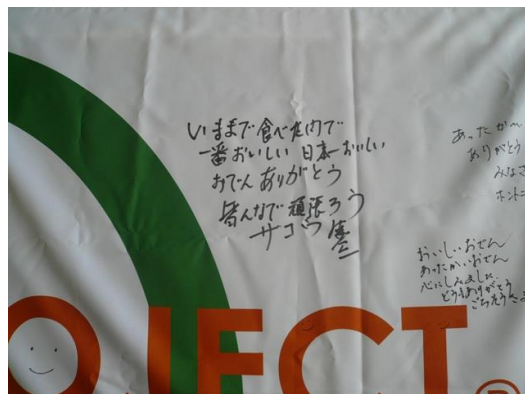
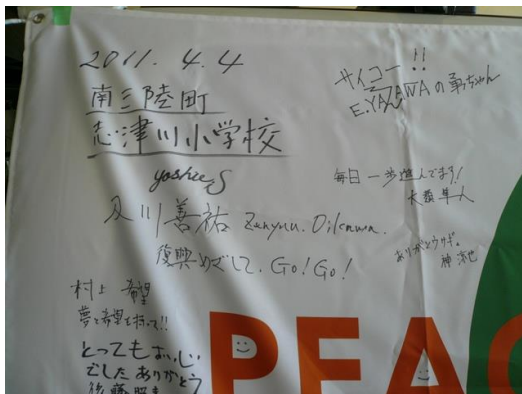
（受益者数：400人）

（志津川小学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：おでん400食提供（協力：トラサンデリカ／ダディーズオピニオン）

この日も志津川には電気が通じていませんでした。小学校に避難されている方、全国から支援に来られた方々に温かいおでんをふるまいました。

徳島から来られた看護師の女性は「2週間冷たい食事ばかりでした。あたたかいおでんで心まで温まりました。ありがとうございます」と言っていたき本当にやって良かったと感じました。



2011 年 4 月 5 日（火）

◎宮城県南三陸町歌津中学校での炊き出し支援活動

（受益者数：500 人）

（歌津中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：ビーフシチュー 500 食提供（協力：ダディーズオピニオン／オージービーフ）

以前、物資配布を行った歌津中学校での炊き出し実施。希望のあった肉を使ったビーフシチューを提供しました。ダディーズオピニオンのメンバーは前日から仕込みを行い、一晩煮込んだシチューは大勢の方にとっても喜ばれました。



2011 年 4 月 9 日（土）

◎宮城県仙台市若林体育館での炊き出し支援活動

（受益者数：200 人）

（若林体育館に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：やしそば 200 食、から揚げ 200 食、野菜スティック 200 食（協力：鯉呼吸）

仙台市で最も被害が多かった若林区での炊き出し活動。「生野菜が食べたい」という要望に応えるため野菜スティックを用意しました。

仙台育英高校野球部の生徒もお手伝いしてくれました。



2011 年 4 月 16 日（土）

◎宮城県石巻市門脇中学校での炊き出し支援活動

（受益者数：600 人）

（門脇中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

津波の被害が多かった石巻市でもこの中学校がある場所は高台のため多くの方が避難されています。以前、物資配布を行ったご縁で炊き出し実施いたしました。

メニュー：中華丼 600 食



2011 年 4 月 17 日（日）

◎宮城県北上町『子育て支援センター』での炊き出し支援活動
(受益者数：300 人)

(子育て支援センターに避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：ビーフステーキ 300 食（協力：オーギービーフ、ダディズオピニオン）

2011 年 4 月 18 日（月）

◎宮城県気仙沼市鹿折県営住宅での炊き出し支援活動
(受益者数：400 人)

(鹿折県営住宅に避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：ビーフステーキ 400 食（協力：オーギービーフ、ダディズオピニオン）

2011 年 4 月 18 日（月）

◎宮城県気仙沼市新月中学校での炊き出し支援活動
(受益者数：200 人)

(新月中学校に避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：ビーフステーキ 200 食（協力：オーギービーフ、ダディズオピニオン）



2011 年 4 月 18 日（月）

◎宮城県気仙沼市面瀬中学校での炊き出し支援活動
(受益者数：300 人)

(面瀬中学校に避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：まぐろ丼 300 食、ちゃんこ鍋 300 食（協力：パンクラス、鰓呼吸）

2011 年 4 月 23 日（土）

◎岩手県釜石市釜石中学校での炊き出し支援活動

（受益者数：800 人）

（釜石中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：巨大アップルパイ 800 食（協力：JC 弘前チーム）



2011 年 4 月 29 日（金）

◎宮城県南三陸町歌津中学校での炊き出し支援活動

（受益者数：500 人）

（歌津中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：ビーフステーキ 500 食、オニオンソテー 500 食、おでん 250 食、リラックマぬいぐるみ、他卒業お祝い提供（協力：サンエックス、ダディーズオピニオン／オージービーフ）

この日は隣の伊里前小学校で遅れた『卒業式』が行われました。『ピースプロジェクト』ではお祝いを兼ねてビーフステーキの炊き出しを行いました。



2011 年 4 月 30 日（土）～5 月 7 日（土）

◎宮城県石巻市鮎川（牡鹿半島） 清優館での炊き出し支援活動

清優館に避難されている方を対象とした炊き出し及び食事支援活動

（受益者数：3000 人）

地震と津波の被害が顕著だった牡鹿半島での支援活動です。

この施設は元々老人介護施設だったが震災後は地元の避難施設として使われています。

この施設において昼食及び夕食の支援を継続的に行いました。

メニュー：カレーライス、三色丼（卵、そばろ、海苔）、シチュー等

（主催：難民を助ける会）

2011 年 5 月 5 日（木）

◎宮城県多賀城市『多賀城文化センター』での炊き出し支援活動

（受益者数：900 人）

（多賀城文化センターに避難されている方及び近隣住民を対象とした炊き出し）

メニュー：焼きそば 900 食、から揚げ 900 食提供（協力：難民を助ける会、鰓呼吸、パンクラス）

子どもの日のイベントとして実施された『子どもまつり』に参加しました。

自衛隊や他の NPO と連動しての大きなイベントとなりました（参加者 2000 人）。



2011 年 5 月 7 日（土）

◎宮城県石巻市『駅前広場』での炊き出し支援活動

（受益者数：700 人）

（石巻市駅前周辺に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：三色丼（卵、そばろ、海苔）700 食、あら汁 700 食（協力：鰓呼吸、パンクラス）

2011 年 5 月 8 日（日）

◎宮城県石巻市北上町『子育て支援センター』での炊き出し支援活動
（受益者数：300 人）

（子育て支援センターに避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：中華丼 300 食（協力：鰐呼吸、パンクラス）

以前、炊き出し支援させていただいた子育て支援センターでの炊き出し実施。

2011 年 5 月 14 日（土）

◎宮城県南三陸町歌津中学校での炊き出し支援活動
（受益者数：300 人）

（歌津中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：焼きそば 300 食、から揚げ 300 食、野菜スティック 300 食（協力：鰐呼吸、山形マルイ、川崎麻世グループ）

以前、炊き出し支援させていただいた歌津中学校での炊き出し実施。



2011 年 5 月 15 日（日）

◎宮城県気仙沼市気仙沼市民会館での炊き出し支援活動

（受益者数：900 人）

（気仙沼市民会館に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：きつねうどん 900 食（協力：大阪恩地うどん、山形マルイ、川崎麻世グループ）

川崎麻世さんの御友人である恩地うどんの協力を得てきつねうどんの炊き出しを実施しました。



2011 年 5 月 17 日（火）

◎宮城県石巻市渡波駅前での炊き出し支援活動

（受益者数：600 人）

（渡波駅前周辺に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：お好み焼き 600 食（協力：チーム鉄板、鰐呼吸）

NHK の朝ドラマ『てっぱん』のモデルとなった方を中心としたチームてっぱんの申し出により実現した炊き出し支援。



2011 年 5 月 18 日（水）

◎宮城県東松島市自衛隊駐屯地での炊き出し支援活動

（受益者数：600 人）

（支援活動を展開している自衛隊員を対象とした炊き出し）

メニュー：お好み焼き 600 食（協力：チーム鉄板、鯉呼吸）

NHK の朝ドラマ『てっぱん』のモデルとなった方を中心としたチームてっぱんの申し出により実現した炊き出し支援。



2011 年 5 月 25 日（水）

◎福島県南相馬市原町第一小学校での炊き出し支援活動

（受益者数：120 人）

（原町第一小学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：炊き立てご飯、ビーフステーキ、ポテトサラダ、ミネストローネスープ

120 食提供

この日がダイムラー社から寄贈の支援車両『ウニモグ』を使っでの活動となりました。



協力：オージービーフ、ダディズオピニオン、難民を助ける会、鯉呼吸グループ

2011 年 5 月 2 5 日（水）

◎福島県南相馬市原町第二中学校での炊き出し支援活動

（受益者数：150 人）

（原町第二中学校に避難されている方を対象とした炊き出し）

メニュー：炊き立てご飯、ビーフステーキ、ポテトサラダ、ミネストローネスープ

150 食提供



協力：オージービーフ、ダディズオピニオン、難民を助ける会、鰐呼吸グループ

※南相馬市への炊き出し等の支援活動はあまり行われていなく、現地の方にとっても歓迎されました。

◎2011 年 6 月 1 3 日（月）

宮城県多賀城市『多賀城文化センター』での炊き出し支援活動

（受益者数：400 人）

※避難所としての『多賀城文化センター』に避難されている方を対象とした炊き出し

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（しまほっけ）、ポテトサラダ、磯汁

400 食提供（「震災後初めての焼き魚だ」という人が多くとても喜んでいただきました）



協力：難民を助ける会、鰐呼吸グループ、格闘技団体『パンクラス』

(左写真はユニモグに乗って満足げな格闘技団体『パンクラス』川村選手)

◎2011 年 6 月 1 4 日 (火)

宮城県石巻市 J R 渡波駅前広場での炊き出し支援活動

(受益者数：450 人)

(渡波地区の避難所、仮設住宅、自宅に避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（赤魚）、野菜浅漬け、磯汁 4 5 0 食提供

(ここでも「震災後初めての焼き魚だ」という人が多くとても喜んでいただきました)



協力：難民を助ける会、鰐呼吸グループ、格闘技団体『パンクラス』

◎2011 年 6 月 1 8 日 (土)

岩手県宮古市田老ボランティアセンターでの炊き出し支援活動

(受益者数：200 人)

(田老 V C に避難されている方を対象とした炊き出し)

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（しまほっけ）、ポテトサラダ、磯汁 2 0 0 食提供。



(協力：難民を助ける会、鰐呼吸グループ)

2 0 0 食用意しましたが、1 0 0 日合同供養祭と重なったため半数の方しか居られませんでした。余った分はボランティアの方々が仮設住宅に“出前”してくれました。

ここでは屋外に臨時テーブルを出して、ちょっとしたバーベキュー気分での食事を演出していただき、スタッフと交流しながらの食事となりました。

◎2011 年 6 月 1 9 日（日）

宮城県南三陸町歌津『平成の森』での炊き出し支援活動

（受益者数：300 人）

（『平成の森』に避難されている方及び仮設住宅にお住まいの方を対象とした炊き出し）
メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（しまほっけ）、野菜浅漬け、磯汁 300 食提供。



（協力：難民を助ける会、鯉呼吸グループ、フットサル学生連盟）

避難所のすぐ前に仮設住宅があります。当初「避難所の方だけに炊き出しして欲しい」と要望ありましたが「ぜひ仮設住宅の方にも提供させて欲しい」とオファーし、300 食の提供となりました。避難所と仮設住宅の間に“心の境界”があるようで少し寂しく感じました。

またこの日、歌津中学校の阿部校長先生から依頼のあった「子どもたちの移動手段」としてのワンボックスカーを支援させていただきました。

（受益者数：200 人）



この車は SEV、オートマックス様から『ピースプロジェクト』に寄贈されたものです。

◎2011 年 7 月 2（土）

宮城県南三陸町歌津『歌津中学校』での炊き出し支援活動

（受益者数：80 人）

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（赤魚）、野菜浅漬け、磯汁 80 食提供



（協力：難民を助ける会、鯉呼吸グループ）

ここでは午後に『落語』のプログラムを実施し、その後の夕食に炊き出しを行いました。震災直後は千人近い避難者がいた同避難所ですが、仮設住宅への入居、他の避難所との統合を経て現在の避難者数になりました。

◎2011 年 7 月 3（日）

宮城県石巻市、石巻駅前広場での復興イベント&炊き出し支援活動

（受益者数：2000 人）

仮面ライダーショー、藤岡ひろしトークショー、炊き出し（ビーフステーキ1000食、かき氷1200食、とうもろこし600食）、生マグロ解体ショー（600食）



（協力：難民を助ける会、鯉呼吸グループ、オージービーフ）

◎2011 年 7 月 1 6 (土)

岩手県釜石市、マックハウス釜石店駐車場での炊き出し支援活動
(受益者数：600 人)

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（しまほっけ）、野菜浅漬け、磯汁 600 食提供。



日本リザルツ、マックハウス、難民を助ける会（盛岡事務所）の協力を得て地元でなかなか食べることの出来なかった焼き魚（炭火焼き）を 600 食提供することが出来ました。受益者からは「久しぶりの焼き魚で感動した！」とお言葉いただきました。

◎2011 年 7 月 1 7 (日)

宮城県気仙沼市、気仙沼市民会館での炊き出し支援活動
(受益者数：800 人)

メニュー：炊き立てご飯、焼き魚（しまほっけ）、野菜浅漬け、磯汁 800 食提供。



(協力：難民を助ける会)

猛暑日ではありましたが、焼き魚（炭火焼）をととても喜んでいただきました。協力いただいた難民を助ける会からは室内用スリッパ（夏用）を 150 足提供していただきました。気仙沼は仮設住宅の設置が遅れており、まだ数多くの方が避難所で生活されています。

◎2011 年 7 月 1 8 (月)

宮城県南三陸町、『ホテル観洋』での炊き出し支援活動
(受益者数：300 人)

メニュー：焼き魚（しまほっけ）、野菜浅漬け、磯汁 300 食提供。



(協力：難民を助ける会)

南三陸町、志津川への入り口に位置する『ホテル観洋』は津波で一部損傷を受けたにもかかわらずいち早く復興し、被災者を受け入れました。

3月11日、ホテルの目の前を津波が通り、街を飲み込むところまで一部始終を目にしたそうです。

ここでも焼き魚（炭火焼）はとても喜ばれました。

2011 年 7 月 21 日（木）

岩手県、陸前高田市『陸前高田ドライビングスクール』でのうなぎ炊き出し支援活動
（受益者数：400 人）

メニュー：うなぎ丼 400 食提供（協力：難民を助ける会）

この日は『土用の丑の日』ということでうなぎ丼の炊き出しを実施しました。

事前の告知の影響もあり、現地に着くとテレビ局、新聞社の取材が多数待ち構えていました。うなぎもあっという間に品切れとなってしまいました。



2011 年 7 月 30 日（土）

宮城県、南三陸町、歌津中学校、夏祭りイベントでの炊き出し支援活動
（受益者数：350 人）

メニュー：かき氷 350 食提供。



（協力：難民を助ける会）

この日は歌津中学校主催の『夏祭り』イベントに参加しました。

当日は日本中から好意によって送られた浴衣を着た子どもたちが楽しそうに屋台や音楽イベントに参加して楽しい一日を過ごしました。

◎2011 年 8 月 1 8 日（木）

宮城県、石巻市牡鹿半島、東浜小学校での野球教室&炊き出し支援活動
（受益者数：350 人）

メニュー：焼きそば、バーベキュー 350 食提供。



協力：楽天を応援する女性の会、難民を助ける会、オージービーフ
『楽天を応援する女性の会』主催の『野球教室&バーベキュー』に協力参加しました。
楽天球団からコーチが参加し、子どもたちを楽しませながら野球に親しむとても愉快的
イベントになりました。

◎2011 年 8 月 2 8 日（日）

宮城県、七ヶ浜、七ヶ浜ボランティアセンターでの『音楽イベント&炊き出し』支援活動
（受益者数：1000 人）

メニュー：焼きそば（600 食）、かき氷（900 食）

※この日は岩手県大槌町で活動しているレゲエの活動団体とコラボレーション。



地元被災地の方々だけでなく、全国から集まってこられたボランティアの方々にもふる
まうことが出来ました。

特にこの日は猛暑日でかき氷の列は途絶えることがありませんでした。

この頃から避難所がなくなり、活動の拠点がどんどん変わっていきました。

◎2011 年 1 0 月 9 日（日）

岩手県、陸前高田市広田町、黒崎神社、『例大祭』“根岬梯子虎舞”“での炊き出し支援活動
（受益者数：1000 人）

メニュー：焼きそば 6 0 0 食
から揚げ 6 0 0 食、
綿あめ 4 0 0 食
スーパーボールすくい 3 0 0 人分。



この日は黒崎神社の例大祭の日です。今年は4年に一度の『根岬梯子虎舞』を奉納する予定になっていました。震災もあり、今年は中止という方向で進んでいたお祭りですが、地元の若手を中心に「こういう時だから皆が一丸となってやり遂げることに意味がある」と9月10日に急きょ開催が決定されました。

『ピースプロジェクト』は皆さんの復興にかける想いを支援するため、難民を助ける会と協力して炊き出し参加いたしました。

「本当に地震、津波は怖かったけど、こうして全国から支援の人々が来てくれて、温かい気持ちが伝わるのが一番幸せです」と言ってくれた2人の子どものお母さんの言葉が忘れられません。

※梯子虎舞とは20メートルの高さで虎舞（いわゆる獅子舞）を披露する地元の無形文化財です。

◎2011 年 1 0 月 1 0 日（月祝）

宮城県、石巻市総合運動公園、『みんなの祭り無礼講～石巻篇～』での炊き出し支援活動
（受益者数：1000 人）

メニュー：焼きそば 6 0 0 食
から揚げ 6 0 0 食、
綿あめ 4 0 0 食
スーパーボールすくい 4 0 0 人分。



名古屋で毎年開催されている『みんなの祭り無礼講』が地域の壁を乗り越えて石巻にやってきました。

「音楽と支援活動のコラボレーションで復興に向けて歩みだそう」というコンセプトのもと、泉谷しげる、嘉門達夫、清水国明といった著名ミュージシャンがステージから熱いメッセージを送っていました。

名古屋に 2 0 年暮らしていたという 8 0 歳のおばあさんから「本当にありがたい、こうして縁もない人たちが私たちを助けに来てくれたことに心から“ありがとう”を言わせてください」と涙を流していただきました。

支援活動で一番心が安らぐ瞬間です。

◎2011 年 1 0 月 2 9 日（土）

岩手県、釜石市鵜住居土橋塾支援
（受益者数：20 人）



釜石在住で住居、塾を津波で流された土橋先生のリクエストに応じて机、いす、ホワイトボード、アレンジャーを寄贈させていただきました。

これらの什器をもって塾を復興していただきました。

◎2011 年 11 月 19 日（土）

岩手県、宮古市『湯ったり館』での炊き出し支援活動

（受益者数：800 人）

メニュー：焼きそば400食

から揚げ400食、

スーパーボールすくい400人分。

岩手県の復興団体『おらが大槌夢広場』主催の復興イベントに参加しました。

宮古市は津波による被害も甚大な地区で、仮設住宅に入居されているけれど地域コミュニティがなかなか再興できない状況下、お祭りのようなイベントでのコミュニティ活性化を目的としました。

特に子どもたちはウニモグを見て「凄い！」を連発、数人を運転席に乗せて遊んでもらいました。



◎2011 年 12 月 24 日（土）

岩手県、大船渡市『社会福祉センター』でのクリスマスイベント開催
（受益者数：100 人）

メニュー：クリスマスケーキ 100 食、ジュース 100 食、
くじ引きゲーム 100 人分。お菓子詰め合わせ 100 人分
サンタクロース登場、読み聞かせ、玩具各種

大船渡市の社会福祉協議会と連携した『クリスマスイベント』開催。

0 歳～6 歳までの子ども、両親を招いてのイベントとなった、当初の予想を上回る 100 人の子どもたちが集まって、賑やかなクリスマス会となった。



◎2011 年 12 月 24 日（土）

岩手県、大船渡市『浜っこニコニコクラブ』でのクリスマスイベント開催
（受益者数：20 人）

メニュー：クリスマスケーキ 20 食、ジュース 20 食、ビンゴゲーム 20 人分。
お菓子詰め合わせ 20 人分、サンタクロース登場
読み聞かせ、玩具各種



《2012 年》

◎2012 年 3 月 10 日（土）

岩手県、陸前高田市『広田保育園』への物資支援
（受益者数：120 人）

支援物資：三輪車 8 台、
お散歩車 2 台
三輪車収納スタンド 2 台
電波時計 1 台
リラックマぬいぐるみ 20 体

もともと 98 名の園児が通っていた保育園です。津波被災した保育園の再興にあたり『ピースプロジェクト』として上記の物資を提供した。

広田町は町の大部分を津波が襲い、海に近い地域はほぼ壊滅状態でした。少し高台にある『広田保育園』も 1.5メートル近く津波につかりましたが、園長先生の気転によって全員無事避難することが出来ました。

再興にあたって、建物は掃除と補修で回復しましたが、遊具類がながされてしまったので今回の支援となりました。



◎2012 年 3 月 11 日（日）

岩手県、宮古市『赤前小学校』での震災復興追悼集会に参加協力

（受益者数：300 人）

午前中、小学生 20 名を集めてお好み焼き教室開催（協力：お好み焼き協会）

午後、追悼集会に参加後、リラックマのぬいぐるみ 100 体、リラックマのバスタオル 50 個、となりのトトロぬいぐるみ 50 体の物資配布

復興祈念餅つき大会（300 食）提供

宮古市赤前地区も津波で大きな被害を受けた地区です。

小学校への入り口に建っていた『赤前中学校』は跡形もなくなっています。

震災当日の 3 月 11 日にこの小学校で行われた追悼集会に参加させていただきました。

一言では語れませんが、追悼集会に参加された皆さんが背負っていらっしゃる苦悩と痛みは私たちには到底理解できないほど深いものであったことを再認識いたしました。

でも、追悼集会後の『復興餅つき大会』では皆さんこぞって参加していただき、とても気合のはいった、盛り上がりのあるイベントとすることが出来ました。



2012 年 4 月 8 日

宮城県、東松島市『小野仮設住宅』での炊き出し活動

(受益者数：200 人)

メニュー：ビーフステーキ、ミネストローネスープ、炊き立てご飯、玉こんにゃく（協力：オージービーフ、ダディズオピニオン、マルキアミュージメント、難民を助ける会）各 200 食提供

小野仮設住宅からの要望で炊き出し実施。子どもたちも大勢集まって『リラックマ』ぬいぐるみの配布等を行いました。



2012年5月5日

岩手県、陸前高田市『箱根山市民の森』で子どもまつり開催

(受益者数：1000人)

箱根山気仙大工伝承館の要望を受け、『ピースプロジェクト』が子どもまつりの企画、運営を受け、他 NPO 団体等と連結しながら祭りを実行しました。

このおまつりの為に、世界中から 300 本以上の鯉のぼりが集まり、会場は多くの鯉のぼりで埋め尽くされました。

当日は 2000 人以上の参加があり、忍者ショー、プロボクシング世界チャンピオンのトークショー、サイン会、多くの屋台など盛り上がる企画が山盛りでした。

主催：箱根山気仙大工伝承館 企画、運営：NPO 法人『ピースプロジェクト』

協力：NPO 法人ハンズ、NPO 法人遠野まごころネット、NPO 法人笑顔プロジェクト、ワールドフットサル、NPO 法人難民を助ける会、川崎麻世、マルキアミュージメント



2012 年 7 月 21 日

福島県、相馬市『狩敷田仮設住宅』で土用のうなぎ炊き出し

(受益者数：260 人)

相馬市福祉企画課とのコミュニケーションにより『狩敷田仮設住宅』での土用うなぎ炊き出しを実施しました。

高齢の方が多い仮設住宅ですが、子どもたちも多く集まってきて『リラックマ』ビンゴゲーム大会など盛り上がったイベントになりました。

メニュー：うなぎ丼 260 食

協力：NPO 法人難民を助ける会



2012 年 7 月 22 日、23 日

福島県、西会津での子どもキャンプ参加

(受益者数：30 人)

NPO 法人『難民を助ける会』主催の子どもキャンプに参加してきました。

これは放射線量が高くて“外遊び”出来ない子どもたちを安心、安全な場所に連れて行き、思いっきり遊んでもらおうという企画です。

実施中「自宅ではこんな外遊びさせられないから連れてきて良かった」というお母さんの声がとても印象的でした。

プログラム：そば打ち体験、自分で楽器をつくる、絵具を作る、絵を描く、バーベキュー、その他

主催：NPO 法人『難民を助ける会』

参加者：6 家族 18 人



2012 年 8 月 18 日

福島県、相馬市『(通称)ダウ長屋』でのイベント参加、バーベキュー炊き出し
(受益者数：40 人)

相馬市福祉企画課とのコミュニケーションにより『(通称)ダウ長屋』でのイベント参加
及びバーベキュー炊き出しを実施しました。

高齢の方が多い仮設住宅ですが、プロのソプラノ歌手の歌を聞いたり、地元オカリナ演
奏グループの合唱「ふるさと相馬」では多くの方が涙を流されていました。

バーベキュー炊き出しでは「久しぶりにこんなに沢山食べたよ」と言っていたけるほ
ど楽しんでいただけました。

メニュー：バーベキュー40 食

主催：NPO 法人『難民を助ける会』



2012 年 8 月 19 日

福島県、相馬市主催『復興花火大会』でのイベント『メリーゴーラウンド』、スーパーボールすくい、UFOキャッチャー等

(受益者数：2000 人)

相馬市からの要請により『復興花火大会』にイベント参加してきました。

滋賀県から移動式の『メリーゴーラウンド』を持ち込み、この日だけのミニ遊園地を再現（搭乗無料）、子どもたちが大喜びしてくれました。

中には十回以上乗る子どももいて「いつもはこんなに遊べないから今日はとても楽しかった、またメリーゴーラウンド持ってきてね」といった女の子の言葉が印象的でした。

メリーゴーラウンド搭乗者：のべ 900 人

スーパーボールすくい参加者 700 人、UFOキャッチャー参加者 600 人（いずれも行例）



2012 年 8 月 20 日

福島県、相馬市『大野台仮設住宅』でのかき氷炊き出し参加。

(受益者数：120 人)

NPO 法人『難民を助ける会』主催のかき氷炊き出しに参加してきました。

当日は猛暑日ということもあってかき氷は大盛況、皆さんに喜ばれました。

かき氷のあとは余ったかき氷を雪に見立てて『真夏の雪合戦』が始まりました。『ピースプロジェクト』小林隊員は子どもたちの標的となり撃沈しました。

主催：認定 NPO 法人『難民を助ける会』

参加者：120 名



2012年9月29日（土）、30日（日）

福島県、相馬市福島県相馬市、中村第一小学校でのイベント開催

（受益者数：500人）

横浜モバイルプラネタリウムによるプラネタリウム上映会とリラックマが当たるビンゴゲーム、スーパーボールすくい、竹とんぼ、トランポリン

220万もの星を再現できる『メガスター』を使ったプラネタリウム（20分間）、空き時間を利用してビンゴゲーム、スーパーボールすくい等を開催しました。

相馬市にはプラネタリウムがなく、星や星座の勉強できる環境を欲する声にこたえるために実施しました。

定員40名を毎回はるかに上回る参加者があり、参加した人からは「とても良かった」と感謝の声をいただきました（2日間、10回上映で500名）。

（共催：認定NPO法人難民を助ける会）



2012 年 12 月 15 日（土）、16 日（日）

福島県、相馬市福島県相馬市の子どもたちを東京に招いてイベント開催
（受益者数：12 人）

相馬市在住の“要フォロー”児童 12 名を東京に招いてディズニーランド、東京スカイツリー見学を実施しました。

今回対象となったのはいわゆる精神的疾患を持った情緒不安定な子どもたちです。外遊び出来なくてストレスを抱えている子どもたちを目いっぱい遊ばせ、ストレス解消させることを目的としました。

（協力：認定 NPO 法人難民を助ける会）

※イベント開催後、担当医師から 1 名を除いて「これで薬を飲む必要はなくなった」と薬解除をいただいたそうです。



2013 年 1 月 11 日（金）

福島県飯舘村役場、教育委員会訪問

飯舘中学校、3 小学校合同校訪問

今回の訪問は 2 月に開催される飯舘村の『いいたてふれあい集会 2013』への参加協力打ち合わせと各学校でのプラネタリウム等の実施について打ち合わせでした。



飯舘村のイベントでは「だんだん参加してくれる団体がいなくなってきたので大助かり」と喜ばれました。基本的に子どもたちを遊ばせるスペースをお任せいただくことになりました。

飯舘村の学校について、基本的に全村避難なので学校そのものが飯野町等に“疎開”しています。しかもこの疎開いつ終わるかわからないのが実情です。

小学校も中学校も地元から通えるものではなくなっています。

何台かのバスによる通学です。片道 1 時間半かかる子どももいるそうです。

各打ち合わせの後、元々の飯舘村役場、飯舘中学校を訪問してみました。



飯舘村に入る直前から道路にも周囲にも人影がなくなります。

民主党の政治家が不用意に“ゴーストタウン”と表現していましたが、ゴーストタウンであることはまちがいありません。

飯舘中学校の高低には線量計がありました。最高値は 2.5 マイクロシーベルトでした。

東京が 0.05 ですから 50 倍の線量ということになります。

2013 年 1 月 12 日（土）

宮城県牡鹿半島、牧浜の豊島富美志さん訪問

豊島さんは牡鹿半島の東浜地区災害対策本部長をされていて、震災直後から東浜小学校避難所の責任者として志たかく震災に立ち向かってこられました。

今回、その忘備録というか回顧録を本にしたいという想いを伝えていただき、お手伝いをさせていただくことになりました。

原稿もいただき、編集作業も終盤で最後の打ち合わせを行うためにおじゃましました。

「俺たちは乞食じゃないから必要以外のものは受け取らない」

「支援に慣れてしまえば、後から来る自立が遅くなるだけ」

という強い信念をもって避難されていました。

また2012年の3月には『復興祭』と銘打って、東浜小学校に支援してくれた NGO、NPO を招いてのお礼イベントまで開催していただきました。

震災当時、私たちは多数の避難場所を訪問してきましたが、これほど印象深い指導者に巡り合うことはありませんでした。



写真は震災時に使用されていた『災害対策本部』今は東浜小学校入口脇に保存されています。

2013 年 2 月 24 日（日）

福島県飯舘村『いいたてふれあい集会 2 0 1 3』参加。

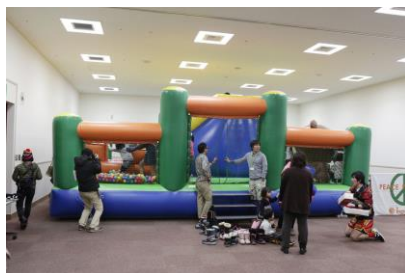
（受益者数：1000 人）

福島市飯坂温泉『パルセいいざか』で開催された『いいたてふれあい集会 2 0 1 3』に参加しました。全村避難対象地区となっている飯舘村は村民が福島全域、他府県に避難している現状で、村民同士の交流が途絶えています。村役場主催でこういう集会を開催し、村民同士の交流を図ろうというのが主な目的です。

あいにくこの日は激しい雪が降ったにもかかわらず、1 0 0 0 人近くの人に集まっていただきました。

『ピースプロジェクト』からは『ベンチャーランド』というフワフワ遊具、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、そして岩手の細川ジムからキックボクシングの選手が参加して子どもたちにトレーニング（？）を手ほどきしてくれました。

子どもたちは久しぶりに会う友達と楽しそうに目を輝かせながら遊具やキックボクシングの体験をしていました。ビンゴゲームではリラックマを始めとする景品に大きな期待と声援が飛び交いました。コールマン社から LED ヘッドライトを協賛していただきました。



2013年3月7日（木）

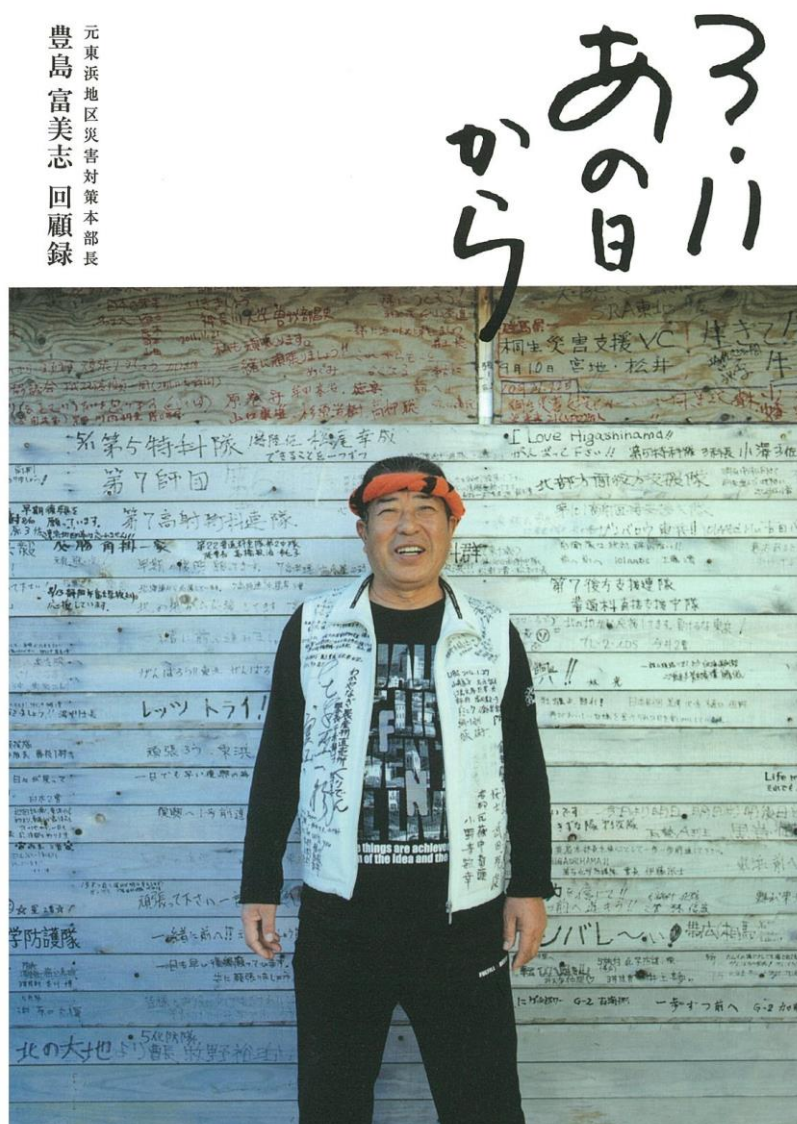
宮城県牡鹿半島東浜災害対策本部長、豊島富美志さんの回顧録『3. 11 あの日から』の出版記念パーティ

東日本大震災直後から避難所の“鬼軍曹”として活躍されてきた豊島東浜災害対策本部長の回顧録がいよいよ刊行されることになりました。

刊行にあたっては『ピースプロジェクト』と認定NPO法人『難民を助ける会』がお手伝いさせていただきました。

この日、加藤タキ様、柳瀬会長をはじめ多数の関係者がかけつけ豊島さんのご苦労をねぎらうとともに出版のお祝いを述べておられました。

この回顧録の編集にあたっては『ピースプロジェクト』の小林通孝さんが編集作業にかかわられました。



2013年3月9日（土）

福島県新地町新地小学校でプラネタリウムの上映、ビンゴゲーム、スーパーボールすくい他を実施しました。

（受益者：200人）

福島県の沿岸部で津波の被害が大きかった新地町でプラネタリウムの上映やビンゴゲームを行いました。

今回も横浜モバイルプラネタリウムの遠山さんの御協力で実現することが出来ました。

朝から強風が吹き荒れる中でしたが、予想以上に毎回ほぼ満員の盛況でした。

プラネタリウム上映の合間には恒例となったビンゴゲームをやったり、竹とんぼやストラックアウトで遊んだり、スーパーボールすくいを楽しんだりしました。



2013 年 3 月 30 日（土）、31 日（日）

東京都江東区有明で開催された『TOKYO OUTSIDE FESTIVAL』に参加しました。

両日とも雨模様で寒い天候だったにもかかわらず多数の参加者が来場されました。

『ピースプロジェクト』としてはパネルでの活動紹介、T シャツ等の販売を行い『ピースプロジェクト』の啓蒙活動を行いました。

（受益者：0 人）



2013 年 4 月 27 日（土）、28 日（日）、29 日（月）

被災地の子どもを夏休み、イタリアで過ごすサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』の参加者セクション

在イタリアの日本人が作り上げたプログラムである『オルト・ディ・ソーニ』に参加する子どもたちから 32 名の応募がありました。この中から参加してもらいたい子どもたちを選ぶための作文、面接を行いました。

選ばれた 12 名の子どもたちには 7 月下旬～8 月下旬の 4 週間をイタリア、サルディーニャ島で過ごしてもらいます。



2013 年 5 月 5 日（日）

岩手県陸前高田市の箱根山で『こどもまつり 2013』に参加しました。

（受益者：2000 人）

『ピースプロジェクト』からは『ベンチャーランド』というフワフワ遊具、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、そして盛岡の細川ジムからキックボクシングの選手が子どもたちにパンチやキックを教えてくださいました。

当日は天候にも恵まれ、予想を上回る入場者が会場を埋め尽くしてくれました。



2013 年 5 月 10 日段階での受益者総数＝39,914 名

2013 年 7 月 20 日（土）

福島県相馬市大野台第 6 仮設住宅で恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

『ピースプロジェクト』では毎年土用の丑の日にうなぎ炊き出しを実施してきました。今年は相馬市大野台での実施となりました。うなぎシラスの減少でうなぎの価格が高騰して仕入れが大変ですが、出来る限り今後も継続したいと思います。

（受益者：350 人）

大野台第 6 仮設住宅は飯館村出身者のための仮設住宅となっています。この仮設には子どもが少なく、高齢者が多い環境となっています。仕事がなくヒマを持て余している男性の中にはアルコール依存症にかかっている方も数名おられて、被災者の厳しい状況を垣間見ることができました。



2013年7月26日~8月23日

福島県の子どもたちがイタリア過ごすサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』の実施。
4月のセレクションを経て参加が決定した子どもたち12名と昨年のプログラム参加者2名（ちびっこボランティア）をイタリア、サルディーニャ島の施設に4週間滞在するプログラムを実施しました。

このプログラムは在イタリアの日本人NPO『オルト・ディ・ソーニ』と協力して行ったものです。今回は『ピースプロジェクト』から小林通孝、加藤勉が前後半にわかれて参加し、子どもたちの面倒をみてきました。

主催：オルト・ディ・ソーニ（在ミラノ非営利団体）

（受益者：14人）

7月26日の出発時は不安そうな表情だった子どもたちも飛行機の中から初めての体験に大興奮で引率役の小林氏を一睡もさせないほど質問攻め、到着してからも時差ボケもなんのその、夜中まで騒いで引率役のボランティアが眠れない夜を過ごすほどでした。

このプログラムでは尿検査をキャンプ開始前と開始後に行い、被ばく量の改善状況を確認しましたが、ほぼ全員被ばく量が大幅に改善することが出来ました。

福島県沿岸部（放射能被ばく地域）の子どもたちにこういったプログラムを提供することは確実に好影響をもたらすことが出来ると確信しました。



キャンプでは乗馬体験や他のキャンプ場へのミニツアー（1泊）も経験しました



ダンスの先生を招いてみんなでダンスも練習しました



サッカーの本場で本格的なサッカーも経験しました



キャンプ中 10 回以上海水浴に行きました写真は『泥の海』と呼ばれるビーチでの海水浴



キャンプ終了前にはお世話になった方々を招いてパーティを行い、これまでの感謝の気持ちを伝えました

8 月 23 日に無事に真っ黒に日焼けした顔で帰国したとき、出迎えのご両親はたくましく育った子どもたちをととても嬉しそうにみつめておられました。

2013 年 8 月 3 日 (土)

福島県相馬市中村小学校でアディダスの協力を得て『バドミントン教室』を開催しました。当日はロンドン北京オリンピックで活躍した池田信太郎選手も参加していただきました。バドミントンで世界を目指す130人の子どもたちに熱心に指導していただき、子どもたちも熱いまなざしで真剣に教わっていました。

協力：アディダス

(受益者：130 人)



2013年8月10日（土）

福島県相馬市主催の『花火大会』に協力しました。

今年も相馬市からの依頼を受けて『ミニメリーゴーラウンド』を滋賀県から取り寄せました。昨年同様子どもたちは行列するほど並び、何回も楽しそうにメリーゴーラウンドに乗っていました。また大谷晋二郎率いるプロレス『ゼロワン』の特別興行を行いました。子どもたちの熱い声援を受け、子どもたちのパワーを源に闘う姿は被災地の皆さんに大きな勇気と元気を与えてくれました。同時“髪結い”“スーパーボールすくい”UFOキャッチャー（協力：マル牛）も実施しました。（受益者：2000人）



2013年10月5日（土）

福島県相馬市程田の『復興住宅』において『ふれあい芋煮大会』を開催しました。

この復興住宅は 2013 年に完成したばかり、入居者は相馬の各地から抽選で選ばれた方が多く、地元住民とのコミュニケーションがなかなか取りにくい状況ということで、今回は単なる“炊き出し”ではなく地元の方々と一緒になって準備作業から行うようにしました。

朝早くから地元の方々多数お手伝いに参加していただき、語らいながら準備作業を開始しました。東京から初めてボランティアに参加したメンバーの中には涙をこぼしながら話を聞いている人もいました。

メニュー：芋煮、白玉あずき、玉こんにゃく（協力：マルキ）

（受益者：200 人）



2013年10月26日（土）、27日（日）

福島県飯坂温泉の『パルセいいさか』において飯館村主催『いいたてむら文化祭』に参加協力しました。

ご存じのように飯館村は全村避難地域で、住民同士が顔を合わせる機会がありません。飯館村役場では春の『ふれあい集会』とあわせて年2回住民同士が顔をあわせてふれあえる機会を設けています。

今回『ピースプロジェクト』では“キッズコーナー”に“リラックマ”を登場させ、会場のちびっこから大人まで楽しませてきました。

（受益者：1500人）



2013 年 12 月 28 日 (土)

福島県相馬市程田の復興住宅で『餅つき大会』を開催しました。

前回、芋煮会の際に「今度は年越し餅つきやって欲しい」というリクエストに応えたものです。

今回も前回同様地元の方々の協力を得て、準備から後片付けまで一緒にふれあい、語らいながら行いました。復興に向けて私たちが出来る支援活動のひとつの形が見えてきたような気がします。

また、餅つき大会には夏のイタリアサマーキャンプに参加してくれた子どもたちが多数遊びに来てくれました。

(受益者：200 人)



《2013 年 12 月 31 日時点での受益者数 44, 308 人》

2014 年 1 月 10 日（金）

福島県南相馬市役所（教育委員会）を訪問しました。

イタリアサマーキャンプの募集協力依頼並びに今後の活動可能性リサーチのためです。



サマーキャンプについてはパンフレット（募集要項）を全児童に配布していただくことになり、今後の活動については地元のNPOをご紹介いただきました。

また「小高地区はいまだに震災直後です」と話していただき視察にいきました。

駅前の自転車置き場は 2011.3.11 のままです。駅から 200メートル離れた元田んぼは津波で流された船や車があ那时的まま放置されていました（海岸から数キロメートル内陸にもかかわらず）。

放射線量の問題もあったのですが、こういう現実を目の当たりにすると心が痛みます。

2014年2月2日（日）

福島県飯館村主催『いいたてふれあい集会2014』に参加しました。

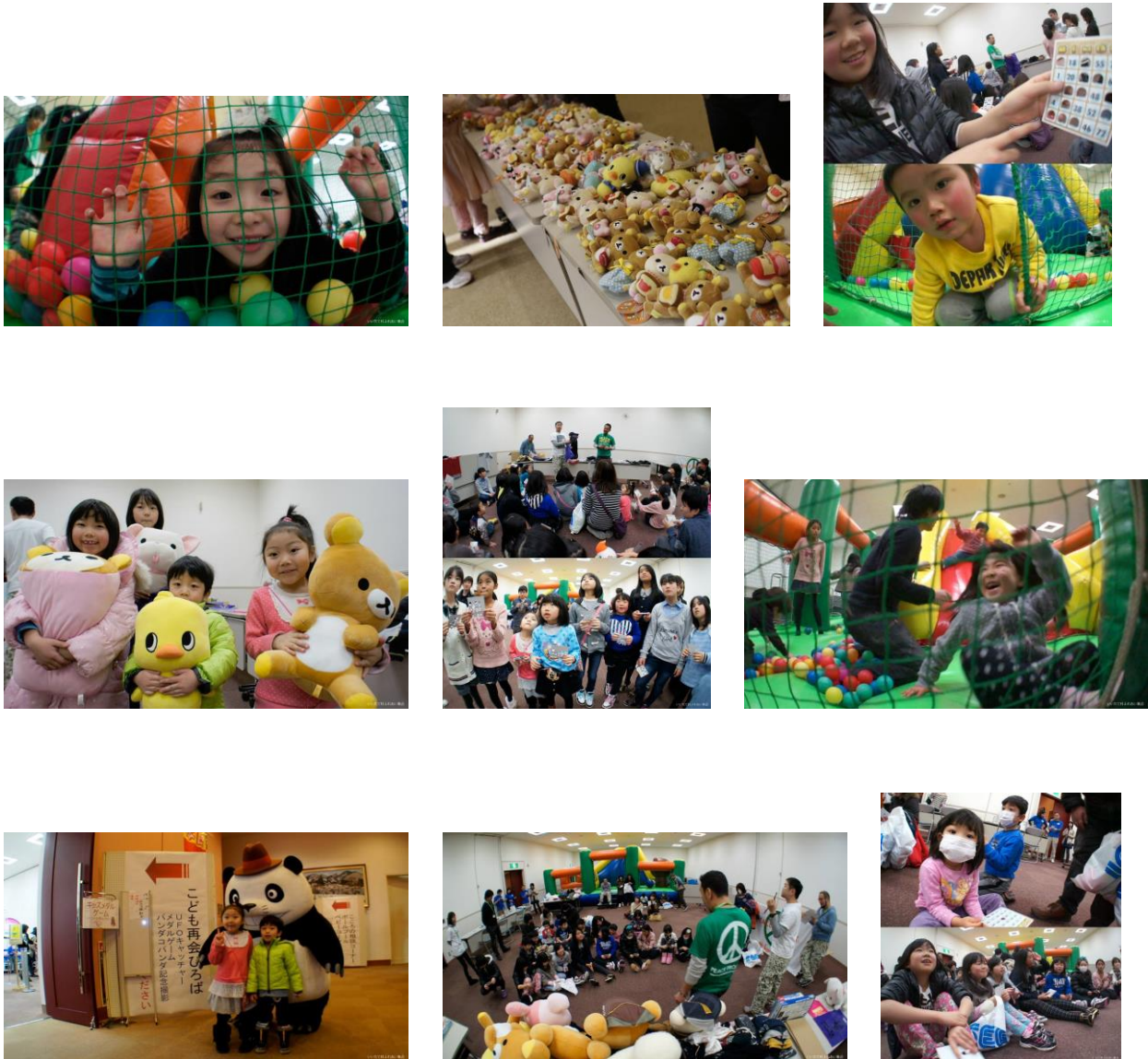
場所：福島市飯坂温泉『パルセいいざか』

（受益者数：1500人）

今回も飯館村からの協力要請を受けて『いいたてふれあい集会2014』に参加しました。

今年もピースプロジェクトの担当は“こども再会ひろば”です。

ビンゴや大型遊具『フワフワ』、折り紙教室などに子どもたちの笑顔があふれていました。



2014年3月29日（土）、30日（日）

『TOKYO OUTSIDE FESTIVAL2014』に参加しました。

場所：東京都新宿中央公園

快適生活研究家田中ケン氏率いる『ダディーズ・オピニオン』主催のイベントに参加して『ピースプロジェクト』の活動紹介並びに協力各社からご提供いただいた物品（Tシャツ等）を販売し活動資金に充てました。



あいにく 2 日目の午後は強風、大雨により中止となりましたが、お花見の人出も手伝い予想以上の売上をあげることができました。ありがとうございました。

売上金：113,400 円

2014 年 4 月 25 日（金）

南相馬市で行う『子ども祭り 2014』の会場下見をしました。

場所：福島県南相馬市屋内プール

今回初めて行う場所なので鯉のぼりの掲揚、ステージ場所、屋台の出店場所等々の確認、電源、水道の確保等を行い、現地スタッフの方と情報交換してきました。



2014 年 4 月 26 日（土）、27 日（日）

イタリアのサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ 2014』に参加希望の福島県の子どもたちとの面接を行いました。

場所：福島県相馬市生涯学習会館

（受益者数：78 人）

今年は去年の参加者の口コミが効いたのか特に相馬市からの応募が目立ちました。

そんな中、2 月に行った飯舘村ふれあい集会で『ピースプロジェクト』のスタッフからパンフレットを受け取った女子が応募してくれたのがとても嬉しく印象に残りました。また面接の合間に昨年参加してくれた森蓮太郎くんがご家族で会いに来てくれました。



2014年5月5日（月祝）

『子ども祭り 2014』を開催しました。

場所：福島県南相馬市屋内プール

（受益者数： 500 人）

昨年まで実施していた陸前高田市の気仙大工伝承館の佐藤会長がお亡くなりになり、子ども祭りの実施が見送られたのを受けて、今年は南相馬市で『子ども祭り』を企画、運営しました。

実施にあたっては地元の NPO である南相馬フロンティアの協力を得て、原町区全域に子どもたちに案内チラシを配布していただくことが出来ました。

当日は朝から雨の予報でしたが、何とか午前中は降らずにイベントを開催することができました。

今回は昆虫イベントで大人気の『ミヤマ仮面』も参加してくれ、子どもたちの注目を集めていました。

協力：認定 NPO 法人南相馬フロンティア、細川ジム（盛岡市）、マルキ（山形）



2014 年 6 月 8 日（日）

イタリアのサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ 2014』の参加者オリエンテーション、過去参加者のリユニオン（ミニ同窓会）を開催しました。

場所：福島市青少年会館

（受益者数：72 人）

今年のサマーキャンプに参加する子どもたちを集めてオリエンテーションを行いました。今年の開催概要は下記の通り、

開催期間：2014 年 7 月 26 日（土）～8 月 22 日（金）

参加者：小学 2 年生～6 年生の男女 16 名

開催場所：イタリア、サルディーニャ島

オリエンテーションではイタリアからかけつけてくれたオルト代表の小林もりみさんの挨拶や昨年参加してくれた佐藤ゆいさん、高村りょうくんの経験談、渡航書類の記入方法などの説明がなされました。



午後には第 1 回目、2 回目に参加してくれた子どもたちが一堂に会してリユニオンが行われました。

1 年ぶり、2 年ぶりの再会を喜ぶ子どもたちとそこそご両親。近況報告では『参加することでとても積極的になった』『将来はイタリアに留学すると決めて今からその勉強をしている』という声や「将来は支援する側に回りたい」などの声が聞こえました。



2014 年 7 月 19 日（土）

福島県南相馬市で恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

場所：『原町学習センター』（受益者：300 人）

今回は初めて南相馬市でのうなぎ炊き出しです。

あいにくの雨でしたが、早くなら並んでいただいたせいもあり、12時半には300食すべてが出払うほどの人気でした。

参加していただいた方々からは「久しぶりに美味しいうなぎをいただきました、ありがとうございます」というお礼の言葉をいただきました。

協力：NPO 法人フロンティア南相馬、認定 NPO 法人『難民を助ける会』



2014 年 7 月 19 日（土）

福島県南相馬市でプラネタリウムを実施しました。

場所：『原町学習センター』（受益者：250 人）

南相馬市にはプラネタリウムがなく、星座の学習が出来ませんでしたが、今回モバイルプラネタリウムの開催で多くの方にプラネタリウムを楽しんでいただきました。

13 時 30 分から合計 5 回の上映となりましたが、毎回満席となり合計 250 名の方に鑑賞していただきました。

協力：NPO 法人フロンティア南相馬、



2014 年 7 月 20 日（日）

福島県相馬市で恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

場所：『細田復興住宅』（受益者：250 人）

前日に引き続き、相馬市で『うなぎ炊き出し』を実施しました。

この日もあいにくの雨でしたが、配布予定前から大勢の人に並んでいただき、あっという間に全量配布完了しました。

ここでも「うなぎなんて何年も食べたことがない！」「本当に美味しいうなぎです」といって喜びの声をたくさんいただきました。

また、ボランティアスタッフの数が心配でしたが認定 NPO 法人『難民を助ける会』のスタッフや昨年イタリアキャンプに参加してくれた子どもとそのご両親が大勢手伝いに来てくれてとても助かりました。

また炊き出し終了後は雨の合間にビンゴゲームを行い、子どもたちにリラックマや学習用品をプレゼントすることができました。

協力：サンエックス株式会社



2014年7月26日~8月22日

福島県の子どもたちがイタリア過ごすサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』を実施しました。

場所：イタリア国、カリアリ州サルディーニャ島、(受益者 16名)

昨年に引き続き今年もイタリアサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』を開催しました。4月の面接を経て参加が決定した子どもたち 16名をイタリア、サルディーニャ島の施設に4週間滞在するプログラムです。

今年は募集範囲を昨年より広げ、相馬市、南相馬市、飯舘村という放射能被害の高い地域から子どもたちを選定しました。『ピースプロジェクト』は日本側のパートナーとして子どもたちの募集から面接、見送り、出迎えを担当しました。

主催：オルト・ディ・ソーニ（在ミラノ非営利団体）



2014年7月29日~31日

福島県南相馬市の子どもたちを北軽井沢で過ごすサマーキャンプを実施しました。

場所：群馬県北軽井沢町、(受益者 20 名)

いつも『ピースプロジェクト』の活動にご協力いただいている田中ケン氏率いるキャンプサイト運営会社『ダディーズ・オピニオン』の協力を得て、南相馬市の子どもたち 20 名を涼しい北軽井沢のキャンプ『アウトサイドベース』で2泊3日過ごしました。

往復をマイクロバス、現地では自分たちでテントを張り、「出来る限り自分のことは自分でする」というコンセプトで、木登り、川遊び、スイカ割り、花火、虫獲りなどをして思いっきり遊びました。

初めての試みでしたが、南相馬市の NPO 子どもの翼の協力を得て、事前説明会（7月9日）を含めスムーズな運営が出来たと感じています。このプログラムは更にブラッシュアップして継続していきたいと考えています。

協力：有限会社ダディーズ・オピニオン



2014 年 8 月 9 日（土）

福島県相馬市主催の『花火大会』に協力しました。

場所：相馬市光陽サッカー場、（受益者：2000 人）

今年も相馬市からの依頼を受けて花火大会への協力を行いました。過去 2 年は滋賀県からメリーゴーラウンドを持ち込みましたが、今年は予定があわず、千葉県からミニレール新幹線『はやぶさ』を持ち込みました。

あいにくの雨模様でしたが、子どもたちは早い時間から行列を作り、何度も嬉しそうに遊んでくれました。

並行して『スーパーボールすくい』『ビンゴゲーム』を行い、花火大会に華を添えることが出来たと思います。

ここにもイタリアキャンプに参加してくれた子どもたち、軽井沢キャンプに参加してくれた子どもたちが顔を出してくれ、こういった活動の継続性を実感することができました。

協力：サンエックス株式会社



2014 年 8 月 27 日（水）

2014 年 8 月の広島豪雨災害に対する支援活動を開始しました。

『ピースプロジェクト』として広島市の豪雨災害に対する支援活動を開始しました。

まず災害対策本部からの要請を受けて、広島市安佐南区の『佐藤公民館』に次の物資を送付しました。（受益者 200 人）

- ① ゴム手袋 2000 枚（LM 各 1000 枚）
- ② 耳栓（安眠用）80 個
- ③ 床洗浄器 50 セット
- ④ 簡易血圧計 2 台



2014年9月5日（金）

2014年8月の広島豪雨災害に対する現地支援活動の情報収集の為、現地を訪問しました。

今回は現地のNPO法人『ピースビルダーズ』の方に現地訪問のアレンジをしていただきました。

まず、上記の支援物資を送致した安佐南区の『佐東公民館』を訪問しました。

全国から届けられた支援物資は避難所にしっかり届き、不自由な避難所生活のサポートを行っていました。

その後、安佐北区の災害地域、安佐南区の災害地域を歩いて回りました。

現地を歩いて感じたのは、今回の豪雨災害の被災地はピンポイントで被害に遭っており、少し離れた地域は通常の生活を送っている状況で、東日本大震災の被害とは根本的に違っているように思いました。緑井7丁目では被災された方の実際の声を聞くこともできました。今後必要に応じて支援活動を展開していきます。



2014 年 9 月 21 日（日）

福島県福島市の『青少年会館』で『オルト・ディ・ソーニ』イタリア・サマーキャンプの報告会を開催しました。

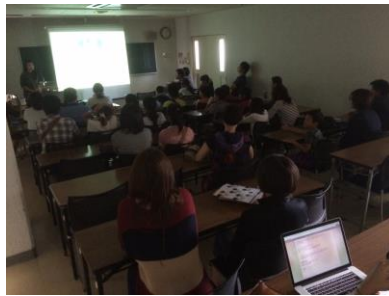
当日はキャンプに参加した 16 人の子どもたちとその保護者に参加していただき、今回のキャンプの実施模様などを共有することができました。

また、健康診断の結果などを個人面談にて報告することも出来、各個人の健康状態についても確認することができました。

場所：福島市『青少年会館』（受益者：55 人）

司会進行は『ピースプロジェクト』加藤が担当、集まった参加者に小林もりみオルト・ディ・ソーニ代表がスライドショーや動画を駆使して4週間のキャンプで子どもたちが経験したことを説明、ご両親やご家族は子どもから聞いた話だけでなく、実際に体験したことに触れ、キャンプの成果を深く理解していただきました。

個人面談では「キャンプを通して芯が強くなった」「思いやりの持てる子になった」「弟（妹）の面倒をよくみってくれるようになった」等のコメントをたくさんいただきました。



2014 年 11 月 8 日（土）

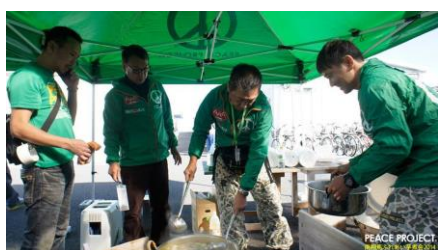
福島県南相馬市で恒例『ふれあい芋煮会』を実施しました。

場所：南相馬鹿島区寺内塚合仮設住宅（受益者：150 人）

朝 9 時から仮設住宅のお母様たちと一緒に 150 人分の芋煮とおにぎりをつくり、仮設で暮らす皆さんに振る舞いました。また、食後にはバイオリンとキーボードの生演奏を楽しんでいただき、最後はビンゴゲームで大いに盛り上がりました。夏のキャンプに参加してくれた子どもたちも遊びに来てくれて、笑い声のたえない一日になりました。

帰り際、お母様たち手作りのフクロウの人形をいただきました。人形についている「家族は一つに暮らしたい」というメッセージが心に響きました。

・メニュー：芋煮、おにぎり、玉こんにゃく（協力：株式会社マルキ）



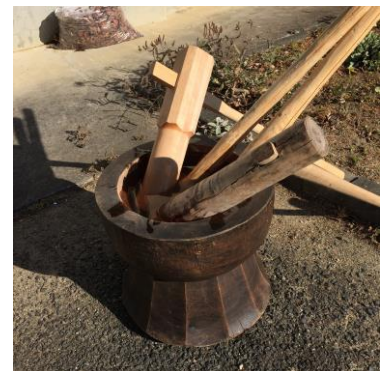
2014 年 12 月 28 日（日）

福島県いわき市の児童養護施設『いわき育英舎』で“年忘れ餅つき大会”を実施しました。

場所：いわき市『いわき育英舎』（受益者：40 人）

今年のイタリアサマーキャンプに参加してくれた AK 君が生活する児童養護施設『いわき育英舎』を訪問、餅つき大会、ビンゴ大会、ワークショップを開催しました。

『ピースプロジェクト』としては今回が初めての児童養護施設での活動でしたが、受け入れ態勢もしっかりしていて、子どもたちも、我々もともに楽しい時間を過ごすことが出来ました。



2014 年 12 月 31 日までの累計受益者総数 49,739 人

『ピースプロジェクト』活動報告書

2015年3月28日（土）、29日（日）

『TOKYO OUTSIDE FESTIVAL2014』に参加しました。

場所：東京都新宿中央公園

快適生活研究家田中ケン氏率いる『ダディーズ・オピニオン』主催のアウトドアイベントに参加して『ピースプロジェクト』の活動紹介並びに協力各社からご提供いただいた物品（Tシャツ等）を販売し活動資金に充てました。2日間の募金は134,300円になります。



2015年3月30日（月）

南相馬市を訪問しました。

目的は5月5日に行う『子どもまつり』の会場視察と夏に行う『軽井沢サマーキャンプ』の打ち合わせです。

場所：南相馬市『高見公園』、『南相馬道の駅』、NPO 法人南相馬こどものつばさ



2015 年 4 月 18 日（土）、19 日（日）

イタリアのサマーステイ『オルト・ディ・ソーニ 2015』に参加希望の福島県の子どもたちとの面接を行いました。

主催：オルトディソーニ、

共催：NPO 法人『ピースプロジェクト』

後援：南相馬市、南相馬市教育委員会

場所：福島県福島市『青少年会館』

相馬市『はまなす館』

（受益者数：89 人）

今年もイタリアのサマーステイに参加してくれる子どもたちを選出するための面接を 2 日間行いました。は去年の参加者の口コミが効いたのか特に相馬市からの応募が目立ちました。今年は福島県の中通りまで募集要項を配布し、地元 FM ラジオ等での告知が効果を発揮し、より広い地域からたくさんの応募がありました。

面接は 18 日に福島中通りを対象に青少年会館、19 日を浜通りを対象にはまなす館で行い、トータル 30 組の面接を行いました。

面接の結果、小学校 3 年生から 6 年生の男女 16 名の参加が決定しました。



2015 年 5 月 5 日（火曜祝）

『子ども祭り 2015』を開催しました。

場所：福島県南相馬市『高見公園』

時間：午前 10 時～午後 2 時

主催：『ピースプロジェクト』、

後援：南相馬市教育委員会、協力：NPO 法人南相馬こどものつばさ、認定 NPO 法人 AAR

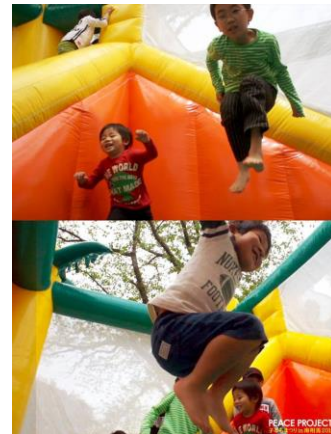
ジャパン、サンエックス株式会社

（受益者数： 1200 人）

『ピースプロジェクト』恒例の『子どもまつり』も今年で 4 回目となりました。今年は昨年に続いて南相馬市での開催となります。今年は南相馬市教育委員会の後援、NPO 法人南相馬こどものつばさの協力を得ることができ、高見公園というひじょうに便利のよい、広い場所を確保することができました。

事前に 4000 枚のチラシを配布し、福島民友日報や FM ラジオでの告知が功を奏し、予想以上の 1200 名に参加していただきました。

フワフワ遊具、スーパーボールすくい、ミニボウリング、ゴルフゲーム、輪投げ、焼きそば屋台、玉こんにゃく屋台、ビンゴゲームを行いました。子どもたちの楽しそうな笑顔がとても印象的な一日でした。また、昨年の軽井沢キャンプに参加してくれた子どもたちも大勢参加してくれました。こういった輪が永く続けていければ嬉しい限りです。



2015 年 6 月 2 日（火）

夏休みの『軽井沢キャンプ』を行うための説明会に参加しました。NPO 法人南相馬こどものつばさが主催して、全 25 プログラムを募集して行う説明会です。

今年は南相馬市桜井市長にご挨拶いただき、また応募希望の皆さんは会場に入りきらないほど多数お越しいただき、とても熱気あふれる説明会となりました。

場所：南相馬市鹿島区万葉ふれあいセンター

時間：午後 7 時～

（受益者数：500 人）



主催者代表の西さん



登壇して挨拶される南相馬市桜井市長



この後の参加者募集でも『ピースプロジェクト』のキャンプは一次募集で定員に達し、抽選で参加者が決められました。

2015年6月21日（日）

イタリアのサマーステイ『オルト・ディ・ソーニ 2015』の参加者オリエンテーションを開催しました。

場所：福島市青少年会館

時間：午前9時30分～11時30分

（受益者数：54人）

今年のサマーステイに参加する子どもたちを集めてオリエンテーションを行いました。

今年の開催概要は下記の通り、

開催期間：2014年7月26日（日）～8月22日（土）

参加者：小学3年生～6年生の男女16名

開催場所：イタリア、サルディーニャ島

今年はイタリアから井口かはるさん、全行程同行していただく久村さんご夫妻、昨年のステイに参加してくれた荒木君、大黒さんにもご参加いただき、中身の濃い説明会を行うことが出来ました。

参加する子どもたちからは「魚釣りは出来ますか」「お小遣いはどのくらい必要ですか」等熱心な質問が多数寄せられました。



2015 年 7 月 10 日（金）

夏休みの『軽井沢キャンプ』の説明会を開催しました。今回も多数の応募をいただき、抽選で 18 名の子どもたちが参加しれることになりました。

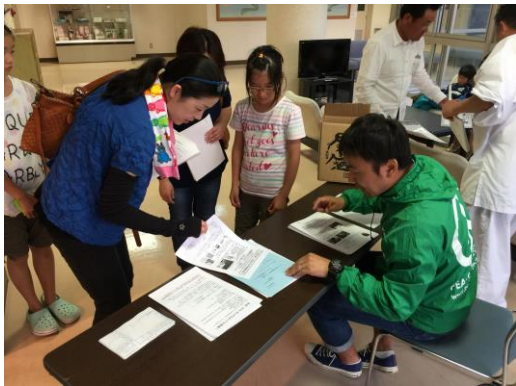
親子で説明会に参加してくれた子どもたちは、今年から追加したアクティビティ『フォレストアドベンチャー』の説明に歓声をあげていました。

参加する子どもたちからは「川で釣りが出来ますか？」「どんな虫がいますか？」「雨が降ったらどうなりますか？」等々たくさんの質問が寄せられました。

場所：南相馬市鹿島区万葉ふれあいセンター

時間：午後 7 時～

（受益者数：50 人）



2015年7月11日(土)

ワイン業界の方々が中心となって東日本震災支援活動を行っている『ワインエイド 2015』に参加してスピーチ、募金活動をさせていただきました。

『ピースプロジェクト』からは代表の加藤が福島県沿岸部の子どもたちの現状をお話しさせていただき、こういったプロジェクトの意義を説明させていただきました。参加していただいた方から 75,205 円ものご寄附をいただきました。

場所：東京都新宿区『アグネスホテル』

時間：午後7時～

(受益者なし)



2015年7月25日（土）

福島県川俣町で恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

2011年の陸前高田市から例年続いている『うなぎ炊き出し』は『ピースプロジェクト』の恒例行事となりました。今年も「うなぎを食べて暑い夏を乗り切ってもらいたい」という想いで皆さんに“うな重”を召し上がっていただきました。

場所：福島県川俣町『農村広場』

対象：川俣町からの避難者向け仮設住宅住民

協力：認定NPO法人AARジャパン（『難民を助ける会』）

（受益者：400人）



2015年7月26日（日）

前日に続き福島県二本松で『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

場所：福島県二本松の旧平石小仮設住宅

協力：認定NPO法人AARジャパン（『難民を助ける会』）

（受益者：100人）



2015 年 7 月 26 日（日）

イタリアのサマーステイ『オルト・ディ・ソーニ 2015』の参加者がイタリア、サルディニア島に向けて出発しました。

この日から 4 週間、輝く太陽、美味しい空気、きれいな海に囲まれた健康的な生活を送って、真っ黒になって帰ってくると思います。

見送りのご両親は若干心配そうでしたが、子どもたちは元気に手を振って旅立っていました。

主催：オルト・ディ・ソーニ（イタリア）

場所：成田空港第一ターミナル

（受益者数：16 人）

